

重要課題(1) 区民の安全・安心の確保

私立幼稚園における安全・安心の確保

660 万円

子育て支援部 / 子育て支援課

私立幼稚園の安全安心確保のため、防犯カメラの設置・インターフォンの整備など安全対策に関する経費の一部を補助します。

ランドセル来館の実施

46 万円

子育て支援部 / 子育て支援課

目黒区在住または在学の小学1年生から6年生までの児童を対象に、学校・自宅・児童館間の移動時間を短縮し、子どもたちのまとまった遊び時間を確保することや、学童保育クラブ待機児、一時的に保護者がいないなど、子どもが安心して過ごせる居場所を確保するため、下校時自宅に帰宅しないでランドセルを背負ったまま児童館に来館できる「ランドセル来館」を実施します。

放課後フリークラブの実施

1,074 万円

教育委員会 / 地域学習課

子どもが学校施設で自由に遊べる「ランドセルひろば」を小学校3校で実施するとともに、学校・PTA・地域などが連携し実施する「子ども教室」を4か所で実施します。



学校における子どもの安全確保

742 万円

教育委員会 / 企画調整課
・ 指導課

家庭における子どもを見守る力の向上と、子どもたち自身の安全に対する自覚を図るため、小学校に通う児童の保護者を対象に「子どもの安全」啓発用冊子を発行します。

また、小学校 1 年生を対象に新たに安全教室プログラムを実施します。さらに、前年度に引き続き、各小学校で地域安全マップ作りを行い、マップ作成をとおして児童の安全意識を高めます。



「動く子ども 110 番の家」の清掃車両への設定

19 万円

環境清掃部 / 清掃事務所

子どもの緊急避難場所として、清掃車両を「動く子ども 110 番の家」に設定します。

「子ども 110 番の家」協力家庭講習会の実施

8 万円

教育委員会 / 地域学習課

子どもが駆け込んできた場合の実地対応訓練など緊急時の対応についての講習会を実施します。



職員の応急救護等の実施 6 万円

環境清掃部 / 清掃事務所

清掃事務所職員がごみ収集中に事故や火災を発見した際に初期活動を行える体制整備のため、応急救護講習等を実施します。

生活リズムセンサー・制御盤設置工事 499 万円

健康福祉部 / 高齢福祉課

高齢者福祉住宅入居者の安全安心確保のため、これまで未設置の住宅に生活リズムセンサーを設置し、入居者の安否を自動的に察知します。

軽度者等生活支援サービス 83 万円

健康福祉部 / 包括支援調整課

介護保険外サービスのうち、日常生活上必要と認められるもの（自宅に浴室がない場合の銭湯介助や理美容室送迎介助など）についての生活支援サービスを実施します。

障害者自立支援法への対応 3 億 1,923 万円

健康福祉部 / 障害福祉課

通所施設の障害者自立支援法適用施設への移行に伴い、新たに生じる利用者負担を軽減し、通所施設の利用を促進するため助成金を交付します。また、増加している自立支援医療費への対応、自立支援給付システムの改修、食費実費額の一部補助を行います。

「子育てひろば」事業実施に向けた児童館改修工事 484 万円

区民生活部 / 中央地区サービス事務所

子育て支援部 / 子育て支援課

「子育てひろば」事業実施のため、上目黒住区センター児童館の1階音楽室を乳幼児専用の遊戯室と相談コーナーに、2階保健室兼倉庫を音楽室に改修します。

水防対策の強化

都市整備部 / 土木工事課

集中豪雨時に区民が自由に利用できるように土のう保管場所を整備します。

(重点警戒箇所を中心に 12 ヲ所)



応急対策用備蓄物資等の整備

2,674 万円

危機管理室 / 防災課

食糧品等は、帰宅困難者用食糧（水・ビスケット）、災害時要援護者用食糧（雑炊）、被災者用下着セットを備蓄目標量に基づき整備します。

また、資機材等は、災害時用マット、衛生用品セットなどの整備、老朽化や期限切れの備蓄品の順次入替えなどを行います。

生活安全パトロール委託の充実・強化

1 億 1,488 万円

危機管理室 / 生活安全課

青色回転灯を装備した生活安全パトロールの充実、強化を図るため、運用時間を拡大し、24 時間 365 日生活安全パトロールとします。

(☞50 ページ)

防犯設備の整備費への補助

600 万円

19 区民のための予算ハンドブック
危機管理室 / 生活安全課

地域の防犯対策の向上を図るため、商店街など区内の地域団体が防犯カメラなどの防犯設備を整備する場合に、補助金を交付します。

外国人区民の安全・安心の確保

186 万円

危機管理室 / 防災課



東京工業大学留学生センターが翻訳した 5 か国語（中国・ハングル・インドネシア・タイ・ベトナム）の防災行動マニュアル（簡略版）を印刷し配布します。

ハングル版は現在作成中です。

重要課題(2) 少子高齢社会への対応

ITなどを活用した広報による少子・高齢化対策 3,965万円

企画経営部 / 広報課

情報内容と機能の充実による見やすさ・使いやすさを向上するため、区ホームページをリニューアルします。また、子育て、イベント情報、地域の安全情報などをメールマガジンで配信します。

めぐろ区報の充実 353万円

企画経営部 / 広報課

年2回、2色4ページの号をカラー8ページの号に変更し、増ページのうち3ページについて、民間情報紙に一定の条件の下で取材・編集を行わせ、子ども・高齢者に関する生活情報を掲載します。

新米ママのつどいの実施 16万円

健康推進部 / 目黒保健センター

核家族化が進み、第一子の誕生後育児に不安を持つ親が増えています。このため、出産後1か月から3か月くらいまでの母子を対象に、月1回育児相談や交流のできる場を提供し、知識の普及、不安の解消を図ります。

妊産婦・新生児訪問指導の充実 22万円

健康推進部 / 目黒保健センター
・ 碑文谷保健センター

妊娠中の療養や出産後の育児に対する知識の普及や不安解消のため行っている、妊産婦・新生児訪問指導事業の件数を増やします。



多胎児懇談会の充実

4 万円

健康推進部 / 碑文谷保健センター

双子、三つ子等の育児を支援するため、これらの子どもを持つ親の交流会や講演会での保育者を増やします。

私立幼稚園保育料補助の充実

1,005 万円

子育て支援部 / 子育て支援課

保護者補助金を引き上げ、保護者負担の軽減を図ります。

心身障害児教育事業費補助の創設

200 万円

子育て支援部 / 子育て支援課

心身障害児の就園に伴う私立幼稚園の運営費の一部を補助することにより、園の負担を軽減し、心身障害児教育の充実と発展を図ります。

義務教育就学児を対象とした医療費の全額助成の実施

1 億 1,772 万円

子育て支援部 / 子育て支援課

19 年 10 月から義務教育就学児(小中学生)全員を対象として入院・通院に係る医療保険の自己負担額を全額助成する事業を実施します。

(☞ 54 ページ)

特別保育の拡充

3,375 万円

子育て支援部 / 保育課

(一時保育) 0 歳児から就学前までの児童を対象に行っている一時保育事業を拡充するため、新たに 1 施設に委託し、事業全体の定員を増やします。

(病後児保育) 病気の回復期にある児童を対象に行っている病後児保育事業を拡大するため、事業の実施施設を増やすとともに、補助(委託)単価を増額し、利用児童加算・施設整備補助を実施します。

南学童保育クラブの創設 3,767 万円

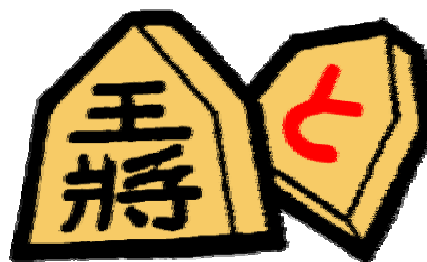
子育て支援部 / 子育て支援課

大岡山小学校域を 2 分割して、大岡山東住区内に新たに 1 クラブを新設し、2 か所の学童保育クラブ合計で概ね 70 名から 80 名の利用が可能になります。このことにより、大岡山小学校区域内の学童保育クラブ利用希望に対する待機児童を解消します。

子ども対象の芸術文化事業の充実 309 万円

教育委員会 / 企画調整課・地域学習課

財団法人目黒区芸術文化振興財団に子ども対象芸術文化事業（めぐろティーンズプログラム、子ども向けワークショップ、区立学校へのアーティスト派遣）の実施を委任します。また、子どもたちに日本の伝統文化に触れる機会を提供するため、夏休みいけ花・茶の湯スクール、夏休み子ども将棋教室、子ども囲碁教室を実施します。



区独自の学力調査の実施 1,107 万円

教育委員会 / 指導課

小学校 2 年生から中学校 3 年生までの児童・生徒を対象に学力調査を実施し、前年度までの学習達成状況や学習に対する意識等を調査します。調査・分析結果は各学校の指導法やカリキュラムの改善・充実に役立てるとともに、各児童・生徒に通知し、学習相談に活用するなど今後の学習に生かしていきます。

総合的な学習の時間の充実 85 万円

教育委員会 / 指導課

中学校 1 校で、総合的な学習の時間の体験型学習としてトレーディングゲームを実施します。

子ども健康スポーツの推進

教育委員会 / 指導課

手軽にできる運動例や運動・健康づくりの取り組みを記録できる「子どもスポーツ健康手帳」を作成し、区立小学校全児童に配布します。



スクールカウンセラーの充実

462 万円

教育委員会 / 指導課

中学校においては、10 年度から全校にスクールカウンセラーを配置し、生徒へのカウンセリング等を行っていますが、小学校においても 16 年度から全校にスクールカウンセラーの定期派遣を行い、保護者からの相談への対応、学校の相談機能の向上を図ってきました。19 年度には派遣時数を拡大しさらに充実を図ります。

体験教室の実施

教育委員会 / 指導課

中学校における宿泊体験活動多様化の一環として、中学校 1 校で目黒区と交流のある気仙沼市を拠点として漁業を中心とした体験教室を実施します。



補助的教員の配置

6,054 万円

教育委員会 / 指導課

少人数学習やチームティーチングの充実、中学校での選択教科の拡大などを図るため、14 年度から区独自に小中学校、幼稚園に学習指導員を配置しています。16 年度からは順次小学校に年間を通して任用する学習指導講師を配置してきました。19 年度は、さらに学習指導員の配置時数拡大、学習指導講師の増員を行うとともに、新たに、「小 1 学級補助教員」「特別支援補助教員」「理科支援員」を実態に応じて配置し、小学 1 年生が入学後の生活に早く適応できるようにします。また、特別支援教育で一人ひとりのニーズに応じた指導をきめ細かく行い、さらに実験・観察の支援で小学校の理科教育の充実を図ります。

特別支援教育の充実

1,741 万円

教育委員会 / 学務課・指導課

通常の学級に在籍する LD、ADHD、高機能自閉症をはじめ、特別な支援を必要とする児童への支援を進めるため、教育面・医療面・心理面での専門的な指導・助言を行う専門チームの派遣や、教員の補助として介助等を行う支援者の配置を充実させます。

また、肢体不自由児のための介助者を臨時職員対応から非常勤職員配置とします。

地域支援事業（介護予防事業）の実施

4,129 万円

健康福祉部 / 包括支援調整課

区民に身近な施設である公衆浴場を活用したお口の健康教室や、介護予防についてより理解を深めていただくため、運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上の講座を老人いきいの家等で開催するなど、広範なかたがたを対象に介護予防事業を実施します。

また、地域包括支援センターにおける介護予防の普及啓発や対象者の把握について、取り組み体制を整備します。



地域支援事業（包括的支援事業・任意事業）の実施

528 万円

健康福祉部 / 包括支援調整課
・ 介護保険課

住み慣れた地域での高齢者の生活を支えるために、次の事業を行います。

- ・ 高齢者虐待防止の講演会を開催します。
- ・ 認知症高齢者を支える地域づくりのために、シンポジウムや認知症サポーター養成講座を開催します。
- ・ より良い介護保険サービスのために、ケアプランチェックや介護サービス評価事業を実施します。

訪問介護員の養成

38 万円

健康福祉部 / 包括支援調整課

民間事業者が実施する訪問介護員養成研修（2級課程）修了者に研修費用の一部を補助します。

重要課題（3）環境問題への取組み

目黒川の環境改善（目黒川の臭気対策）

968 万円

都市整備部 / 土木工事課

目黒川の臭気対策として河床をならし、土砂の堆積を防止するとともに、堆積した土砂の処分をします。

みどりのまちなみ賞（仮称）の制度化

42 万円

都市整備部 / みどりと公園課

緑化の一層の推進を図るため、区内の民間緑化施設のうち、特に優れたものに対し表彰を行う「みどりのまちなみ賞（仮称）」を創設します。

地球温暖化防止目黒行動宣言

235 万円

環境清掃部 / 環境保全課

区と目黒区地球温暖化対策地域協議会が共同し、目黒区地域として区民、事業者、区などが地球温暖化防止に取り組むための地球温暖化防止目黒行動宣言を行います。基調講演、シンポジウムを開催し、区民向けのパンフレットを配布します。

歩行喫煙等禁止区域指定事業の推進

2,258 万円

環境清掃部 / 環境保全課

18 年 12 月 1 日から、中目黒駅周辺及び自由が丘駅周辺で実施している路上喫煙の規制について、駅頭キャンペーン等の啓発活動を通して「めぐろたばこルール」の周知を図るとともに、指定喫煙所の維持管理や、禁止区域内における啓発パトロールを実施します。



アスベスト分析調査費の助成

250 万円

環境清掃部 / 環境保全課

区民のかたが個人で所有し居住する住宅（マンションなどの管理組合を含みます）に使用されている吹付け建材のアスベスト分析調査（アスベスト含有の有無、飛散等の状況調査）を行う際、住戸 1 戸あたり 10 万円、マンションなどの管理組合は 20 万円を限度に、調査費の 1/2 を助成します。

3 R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
（めぐろ買い物ルールの P R）

196 万円

環境清掃部 / ごみ減量課

区民と事業者の協力による「めぐろ買い物ルールを広める会」では、ごみを減らす運動「めぐろ買い物ルール」をポスター・懸垂幕・バス広告等で P Rしながら、さまざまな啓発活動を行っています。



ごみを減らす運動

3Rとは、
発生抑制(リデュース:Reduce)
再使用(リユース:Reuse)
再生利用(リサイクル:Recycle)
の頭文字をとったもの。

3 R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
（分別収集計画の策定）

288 万円

環境清掃部 / ごみ減量課

家庭ごみの約 6 割（容積比）を占める容器包装廃棄物の 3 Rを一層推進していくため、容器包装リサイクル法の改正に併せて、20 年度を始期とする 5 力年計画を策定します。そのため、ごみの組成割合を調査し、実態に即した分別収集見込み量などを盛り込み、区民に公表します。

3 R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進
(廃プラスチックリサイクルの促進)

5,551 万円

環境清掃部 / ごみ減量課・清掃事務所

2 つのモデル事業を区内 20% 規模の地域で、10 月から実施します。

限りある資源を有効利用するために、ペットボトル・資源プラ (プラマークの付いたプラスチック製容器包装) ・びん・缶をごみ集積所において分別回収するモデル回収事業

《 識別マーク 》

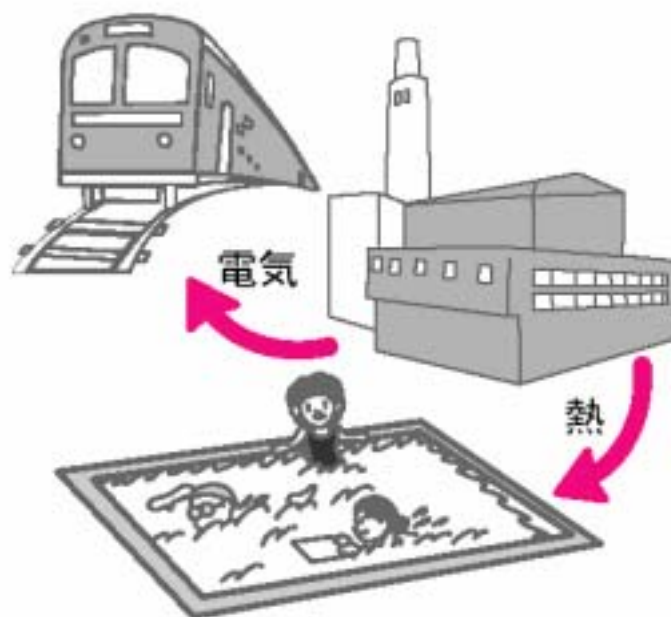


プラスチック製容器包装
(ペットボトルを除く)



ペットボトル
(清涼飲料・しょうゆ・酒類・乳飲料等)

再資源化が困難な廃プラスチックを清掃工場で熱回収(サーマルリサイクル) するために、新たに分別区分を不燃ごみから可燃ごみに変更して排出するモデル収集事業



小学校での環境負荷の低減

1,592 万円

教育委員会 / 学校施設計画課

小学校の体育館や校舎の壁面緑化を進め、さらに、体育館屋根の高反射塗料による塗装により、環境負荷の低減を進め、ヒートアイランド対策を行います。



学校版 I S O プログラムの推進

334 万円

教育委員会 / 教育改革推進課

区立小中学校 12 校で学校版 ISO プログラムを新たに導入するとともに 7 校で昨年度に引き続きプログラムを運用し、児童生徒及び教職員が一体となって省エネ・省資源活動と環境学習活動に取り組みます。

目黒区環境学習推進計画を推進するための基盤整備

911 万円

環境清掃部 / 環境保全課

昨年度に引き続きモデル事業・公募事業を実施します。また環境推進員の登録、生ごみ堆肥化装置の設置などにより、環境学習をより一層推進していきます。

